



夫婦や家族の絆を感じる本

今月 22 日のいい夫婦の日にちなみ、夫婦や家族の心温まる話や絆を感じる本を紹介します。



『火車』 宮部 みゆき／著（双葉社）

休職中の刑事が、遠縁の男性に頼まれて彼の婚約者の行方を捜すことになった。自らの意思で失踪、しかも徹底的に足取りを消してなぜ彰子はそのままでして自分の存在を消さねばならなかったのか？

主人公・犯人・捜査の協力者・証人のほとんど全員が違った形の夫婦や恋愛中の男女関係で、夫婦愛とは何なのかをしみじみ考えさせられる 1 冊です。



『空中庭園』 角田 光代／著（文藝春秋）

あなたは大切な人に嘘をついていませんか？家族のことをどれだけ知っていますか？

母と娘の絵里子が自分の理想を元に作り上げてきた、一見幸せな 6 人家族。こんな理想を作った背景には、恵理子の“いじめ”や“母の愛情不足”によって心を閉ざした幼少期の経験が関係しています。そんな経験を繰り返したくないという思いから、隠し事をしない幸せな理想の家庭を追い求めていく、家族小説です。


その他の展示

11 月は和食月間

11 月 7 日が鍋の日

ということで…。

『温かい食べ物で、美味しく健康になる本』を紹介します。



秋の絵本と児童書

秋も深まり、お風呂や銭湯が恋しい季節になりました。今月も秋の良さを感じる本を展示しています。



『お風呂やさん』 西村 繁男／作（福音館書店）

行けばそこは別天地。大人は肩まで湯につかり、子どもはたっぷり遊べる銭湯。銭湯を知らない人でもこの絵本を見たら、必ず行ってみたいくなること間違いなしの 1 冊です。



『びっくり まつぼっくり』 多田 多恵子／ぶん（福音館書店）

上から下から見たら、どんな形してるかな？まつぼっくりについているタネもふしぎで、くるくるまわるダンスをします。そして、雨の日にまつぼっくりを見たら、形がすっかり変わって…。閉じたまつぼっくりを持って帰ったら、次の日またびっくり！

まつぼっくりのふしぎに出会える絵本です。